

山梨県流通センターニュース

編集・発行 協同組合山梨県流通センター（中央市山之神流通団地2-6-1）
TEL (055) 273-4711 FAX (055) 273-4713



▲組合56人が出席した通常総会

通常
総会

新理事長に中込裕氏

新執行部スタート

第51回通常総会は、2023年5月30日（火）流通会館で開かれ、組合員56人（委任状出席含む）が出席。2022年度の事業報告、収支決算、2023年度事業計画、収支予算案などの提出議案は全て承認、可決された。また令和5年度は役員改選となるため、次期役員推薦委員会から推薦された理事14人、監事2人が候補者として上程され、中込裕（株）システムインナカゴミ 代表取締役）が理事長に就任し、承認された。

2022年度の事業は、第1に新たな団地の再整備として、既存組合会館の土地・建物の有効活用方法の調査検討、組合既存会館跡地利用のサウンディング調査、組合会館新築移転先敷地の既存建屋のアスベスト

調査及び対策について検討したことが報告された。

第2に組合創立50周年記念事業を2022年11月18日（金）に甲府記念日ホテルで開かれ、記念事業として創立50周年記念史、50周年の歩み動画、組合員・準組合員紹介動画、団地空撮動画を作成した。今後も業務団地として『安全・安心で最適なる企業立地』であることを発信しながら組合活動を進めていくとした。

第3に収益力の強化と財務基盤の充実として、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い会館収入は2020年度から減少傾向であること、電気料の高騰により水道光熱費等が大幅に増加したことを挙げたが、修繕

等の経費削減、賃貸収入により、安定したキャッシュフローが維持されていることが示された。

第4に組合組織の活性化推進を目指して、第5回総合防災訓練や新型コロナウイルスワクチン職域接種、3年ぶりのソフトボール大会を実施し、組合員間の連携を深めたことが報告された。

第5に組合諸施設の整備・補修として、老朽化による破損・故障が増加し修繕費用が大幅に増加している状況であるため、必要最低限の工事にとどめ、今後もランニングコストを考慮したうえで改修工事を行う予定とした。

2023年度事業計画は、2022年度で実施

した事業を中心に、よりよい組合に発展するための施策を進める。重点事業として、課題1 新たな団地再整備事業の充実のため、「令和5年度卸商業団地機能向上支援事業」の助成金を受け、新組合会館建設計画第2案作成等を行うこと、課題2 組合共同事業の充実と組織の活性化のため、収益力の強化、組合員同士の交流を進めていくこと、課題3 企業活動における県内最適地としての価値を高めるためSDGsへの取り組みの強化を行うこと、課題4 組合諸施設及び組合員施設の整備・補修のため、老朽化に伴う修繕の実施や、組合員の諸施設の整備・修繕の相談を受けることとし、総会は閉会した。

中込 裕 新たな50年に向けて歩みだす



▲中込裕理事長

この度、総会におきまして新理事長に就任しました株式会社システムインナカゴミ代表取締役の中込です。

コンピュータ関連の事業を行っていますが、創業のきっかけはパソコンの出現でした。

誰もが自分のコンピュータを身に着け使いこなす日を夢見て会社を立ちあげ、すでに35年が過ぎようとしています。手狭になり甲府の駅前から流通センターに入居したのは21年前でした。

当時センターは転貸融資の焦げ付きで10億円を超える負債を抱え運営の危機に瀕していました。その後、制度改革を行い不動産賃貸事業に専念しこれを解消してきたことは御存じの通りです。

14年前、前栗山理事長体制が発足されるとともに私も副理事長として執行部へ参画することになりました。組合運営の安定化と、安全安心、防災、減災に対する施策を掲げセンターは全国でも上位の優良組合へと変貌してきました。そしてセンターは昨年設立50周年を迎え新たなステージへ向かおうとしています。

現在継続中の案件は、組合会館の建て替え問題です。ここ数年にわたり調査研究を行ってまいりましたが、具体的な取り組みは約5年後ではないかと考えています。現組合会館は耐震基準に適合しておらず防災の面からも建て替えが望ましいのですが、採算を含めて検討する必要があります。積立金は準備していくのですが建設費の高騰もあり採算性のない事業は行うことができません。今後とも検討を重ね、皆様の同意を得て実行するかどうか決めていきたいと思っています。

さて私の新たな取り組みとして、各社へ訪問しながら組合員の現状を教えていただき発展するためのデータベースを作っていきたいと考えています。

例えば建物の老朽化など共通した問題点を探し出し、組合として一緒に取り組めるものが無いかな調査していきたいと考えています。新たな50年に向かって多くの理事が入れ替わり若返りました。今後の流通センターの発展と各社の事業の発展に少しでも寄与できればと思います。新たにしております。是非今後ともよろしくお願い申し上げます。

4年ぶりに納涼懇親会

出席者たち和やかに交流

当組合の納涼懇親会が2023年7月21日（金）甲府記念日ホテルで開かれた。実に4年ぶりの開催となり、多くの来賓を招き、組合員、準組合員、来賓、事務局含めて66人が出席し、終始にぎやかな会となった。

今年は万葉集に登場する夏の花をテーブル名とし、『紫陽花』のほか10卓が並んだ。

開会に当たり中込理事長は「5月の総会で皆様の承認を得て理事長に就任し、改めて組合は50年という長い時間の中で安定した運営を行っていると感じた。それも

先輩方が組合をしっかり築き上げていただいたおかげである一方、喫緊の課題として組合会館の新築が挙げられるため、組合員の皆様のお話を聞きながら構想をまとめたいと考えている」と組合の将来について話された。

来賓を代表して山梨県産業労働部染谷光一郎長と中央市望月智市長から祝辞をいただき、乾杯の発声を出席者たちは料理や酒を楽しみながら歓談し、懇親をさらに深めた。



流通
センター

50周年記念特設ページ開設

当組合創立50周年を記念し、2023年3月31日に組合HP内に創立50周年特設ページが設けられた。ページ内では「組合員・準組合員の紹介動画や組合の「50年のあゆみ」動画、「団地内空中散歩」動画を閲覧で

きるようになっている。50年間の貴重な写真や、普段見ることのできない空撮映像を見ることができるため、是非ともご覧いただきたい。



ボウリング大会 甲信食糧チーム優勝

個人は篠崎さん(株)山梨中央銀行)が1位

第24回山梨県流通センターボウリング大会は2023年6月9日・13日・16日・27日の4日間に予選大会、7月14日決勝大会が、甲斐市の大統スターレーン双葉で行われた。

4年ぶりの開催となるが、参加チームは60チーム237人と前回大会より増加し、決勝大会はルール変更により、予選大会の上位24チームが決勝に進出し、熱戦となった。

甲信食糧(株)Aが団体優勝し、準優勝は(株)山梨中央銀行で、3位は(株)スズケンAとなった。

個人の部は、篠崎稜さん((株)山梨中央銀行)が2ゲームトータル359で優勝となった。

上位(3位まで)の結果は次の通り。

■団体の部(2ゲームトータル)

順位	会社名	メンバー	スコア
優勝	甲信食糧(株)A	中込(武)、藤原、堀内、中込(沙)	1242
準優勝	(株)山梨中央銀行	篠崎、石原、井上、荻原	1214
3位	(株)スズケンA	菊池、杉山、宇野、小林	1208

■個人の部(2ゲームトータル)

順位	氏名	会社名	スコア
優勝	篠崎 稜	(株)山梨中央銀行	359
準優勝	有泉 学	マコト医科精機(株)A	358
3位	小林 完	(株)マルモA	352



▲ 団体優勝の甲信食糧Aチーム



▲ 団体2位の(株)山梨中央銀行チーム



◀ 個人の部優勝
篠崎さん

カードの裏表を学ぶ

LoMAの会 中込社長の講義に聴き入る



青年部『LoMAの会』は6月28日にパワーディナーを開き、講師として組合理事長に就任された(株)システムインナカゴミ 代表取締役社長 中込裕氏をお招きした。

今回のパワーディナーでは『ネット通販におけるクレジットカードの不正利用と被害』をテーマに講演され、クレジットカード利用者、販売店、個人事業者、ネット通販会社の各視点で起こりうる被害について解説された。

会員は自社の販売環境と照らし合わせ、情報交換を行い有意義な勉強の時間となった。

◀ 懇親を兼ねて開かれたLoMAの会

基本健診やエコー検査が行われる

608人が受診、健康確認

当組合の集団健康診断が2023年7月31日から8月4日の計5日間、流通会館で開かれ43社608人が受診した。健診機関は山梨県厚生連健康管理センターへ依頼し、生活習慣病予防健診などの基本健診に加え、エコー検査、アレルギー検査といった多数のオプション検査項目や、協会けんぽの補助金により受診できる「付加健診」と「婦人科健診」の受付手配をいただいた。

また、同じ会場で協会けんぽの『特定保険指導』と、住友生命保険相互会社による『血管年齢測定』、野菜の摂取量を測る『ベジチェック』を実施。自身の健康に関心が高まる集団健康診断となった。



流通センター インフルエンザ予防接種等 今後の予定

下記日程で実施を予定しております。詳細は別途案内をご確認いただくか事務局までご連絡ください。(TEL 055-273-4711)

○インフルエンザ予防接種

2023年10月24日(火)・25日(水)

11月2日(木)・6日(月)

※6日は市川メディカルクリニックにて実施

○乳がん検診

2024年2月21日(水)・22日(木)

D セミナー

「DXの本質」につき、研修

講師にNTT東日本西島氏を迎えて



▲ 西島氏の講演に耳を傾ける参加者

DXセミナーが8月24日(木)に開かれ組合員・準組合員から10社14人が参加し、オンラインからは15人が参加した。講師はNTT東日本 山梨支店 ビジネスイノベーション部 マーケティング担当 西島秀和氏で、『DXを推進する中で見えてきた中小事業所におけるDXの本質』をテーマに講演された。

西島氏はDXを推進する立場として、他社との競争のため、データに基づいてサービスを高速に改善することが現代の産業として最も重要なものと捉えているという。ただし、全ての企業に同じDXを取り入れるのではなく、業種、業態、規模などから導入すべきDXについて考える必要があると説明。

セミナーでは日本電信電話ユーザ協会が実際に取り入れたデジタル技術として、クラウドの紹介があり、容易に導入できる利点から中小企業において有用な技術であると語り、講演を終えた。

DXセミナー 次回開催予定 『デジタルツール体験ワークショップ』

実施日：2023年10月30日(月)

時間：12:30～17:00

場所：流通会館 展示場

使用ツール：kintone

※詳細は別途案内をご確認いただくか事務局までご連絡ください。TEL055-273-4711

実践編!

組合員の変更

組合員名	変更前	変更後
(株)正直堂	社長 宮城 隆	社長 竹原直人
山崎製パン(株) 武蔵野工場 甲府営業所	所長 小池 敦	所長 茗荷 敦

準組合員の加入・脱退

準組合員名	加入・脱退の別	変更後
(株)エムシー	加入	中央市山之神流通団地1-7-2
(株)YUYAMA	脱退	中央市山之神流通団地1-7-2

『事務局日誌』

～4～8月の主な会議等～

◆4月

- 4日 正副理事長会議
- 4日 相談役会議
- 6～7日 新入社員研修会
- 7日 新入社員ウェルカムパーティー
- 12日 リサイクル・一斉清掃
- 14～16日 北ブロック懇談会視察研修
- 20日 研修・厚生委員会

◆5月

- 9日 正副理事長会議
- 10日 北ブロック懇談会
- 12日 リサイクル・一斉清掃日
- 12日 組合会計監査
- 17日 理事会
- 24日 青年部LoMAの会
- 30日 通常総会

◆6月

- 2日 西ブロック懇談会
- 6日 正副理事長会議
- 9日 ボウリング大会予選開始
- 12日 リサイクル
- 16日 理事会
- 28日 青年部LoMAの会

◆7月

- 4日 正副理事長会議
- 5日 廃蛍光管収集処分
- 5日 北ブロック懇談会
- 12日 リサイクル・一斉清掃日
- 13日 東ブロック懇談会
- 14日 ボウリング大会決勝
- 21日 納涼懇親会
- 22日 営業力強化セミナー
- 27日 南ブロック懇談会
- 31日 集団健康診断（8／4迄実施）

◆8月

- 1日 正副理事長会議
- 4日 北ブロック懇談会
- 9日 リサイクル・一斉清掃日
- 17日 青年部LoMAの会
- 23日 団地再整備特別委員会
- 24日 DXセミナー
- 30日 正副理事長会議

かいがね

ここ数年来、私には頭を離れない心配事がある。私にそれを払拭するすべはない。なので私個人のことでなく妻や子供たち孫たちのことでもない。実は子供や孫たちが生きる20年、30年後の日本社会に関わる心配事である。

少し迂遠な言い方となったが、数十年後の日本のことを思うと心配でならないのだ。それと言うのは、まず日本の債務(借金)である。ご存じの方もおられるだろうが、国債などの2022年の債務残高は1,200兆円を超えGDP(国内総生産)の261%、これは世界第1位であり、今世紀初頭の頃、国家が危機的状況となった第2位のギリシャの177%をも大きく引き離すダントツの1位で言うまでもなく世界最悪である。

これはどういうことかと言うと、日本の状況は企業なら倒産状態である。要するに債務返済不能の状態にある。アメリカの投資家ジム・ロジャースは2017年、日本の経済状況についてこういつている。「日本はいまGDPの240%、1,000兆円を超す巨額赤字を抱えています。(中略)とてもじゃないがこの借金を返済することはできない状況になってきました」。既に返済不能状態にあるにもかかわらず、一向に減らないばかりか借金の額は年々増加しているのだ。

では、この状況は将来どんな問題をもたらすことになるのか。まず考えられるのは政府も自治体も行政コストを負担できなくなり、交通網、上下水道、ライフライン、警察、消防、教育機関など暮らしを支えるインフラが維持できなくなるだろう。医療や社会保障制度も後退する。

加えて問題なのは猛烈なスピードで進む人口減少である。総務省統計局によると今年6月末の人口は12,452万人、2050年の予測では1億人を割り、9,515万人、65歳以上の高齢者は39.6%となる。2,100年には6,407万人、高齢化率は40.6%である。これは結婚しない人、結婚しても子供を持たない人が増加しているためだろうが、出生率の低下は40年以上も前から問題視されていたにもかかわらず何の対策も講じられないまま低下の一途をたどってきた結果がこの状況である。人口が減少し高齢化率が上昇すればどういう事になるのか。分かりやすいのは年金である。今の年金制度が維持できなくなるのは間違いない。当然ながら労働人口の減少により、あらゆる経済指標は下落することになる。日本の近未来は老後を支えてくれるカネはなくヒトもいないのだ。

不思議なのは、こんな私の心配事など国の指導者たちは百も承知だろうに国会で議論することもなく、与野党ともに関心の外の有様で、果たしてこういう人たちに子供や孫たちの未来を託してよいのだろうかと思えてくる。

とは言え、これもわれわれの無関心が招いた結果であることに違いなく、言わば自己責任と思うしかないのか。随分高いツケを負わされることになったものだ。

(M)